

# 議会だより ふだい

FUDAI 40th ANNIVERSARY

No. 134

平成28年1月30日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



ほら見てお面できたよ！  
(1月25日、はまゆり子ども園「親子での鬼のお面作り」)

普代浜の法面工事などの補正予算を審議、可決 — 12月定例会 2頁

給食センター工事、沿岸道完成後の観光策など問う — 2議員が一般質問 6頁

請願・陳情、村民と議会との意見交換会のお知らせ、主な動き 8頁

特集 — 村想う生後 一人でも… ふだいの明日を担う中学生議会 10頁





写真はいきいき岩手結婚サポートセンター・通称「i-サポ」のパンフレット。県内に住んでいる人、または居住できる20歳以上の独身の人であれば入会できます

12月定例会の補正では、総務費のまち・ひと・しごと創生費の「いきいき岩手結婚サポートセンター」「i-サポ」入会助成金10万円を増額しました。「i-サポ」は、結婚を望む若者に出会いの機会を提供することにより、岩手

### 入会料を助成 結婚サポート

#### 主な内容

で結婚し子育てをするという希望がかなえられるようにと県、市町村、主要民間団体によるオール岩手の体制で設置・運営しています。その入会登録料1人1万円を、10人分助成することになりました。村は昨年11月には村独自に「釣りコン」を開催しましたが、さらに結婚をサポートするように入会を勧めます。独身の方は、ぜひ、入会してみたいかがですか。担当は総務課・地域創生室です。

## 12月定例会 普代浜の法面工事など 補正額1億1570万円を可決

# 「i-サポ」登録で 結婚効果に期待

村議会12月定例会が12月17日に開かれ、結婚支援事業などの一般会計補正予算と4特別会計の補正予算、計1億1570万円が可決されたほか、条例の制定・一部改正など11議案が審議され、原案の通り可決されました。また、陳情は1件を継続審査としました。

村の政策を問う一般質問には2人が登壇。学校給食センター建設に係る工事状況や、沿岸道全線開通後の観光振興策などの質問がされ、村の政策を問いただきました。



一般会計補正予算など11議案を可決した12月定例会

平成26年度の一般会計補正予算は、歳入歳出に1億1047万2千円を増額し合計を33億6581万7千円にしました。特別会計では、国民健康保険特別会計で562万6千円を増額、簡易水道特別会計では普代浜園地の水道修繕に70万円を増額。休養施設事業特別会計では、くろさき荘のベッド、ソファなどの購入に200万円を増額しましたが、燃料費などを減額し、合計で84万3千円を減額しました。後期高齢者医療事業は25万3千円を減額しています。

### 一般会計補正 1億1千万円

### 黒崎地区など 村道舗装工事

土木費では「村道補修工事」に500万円の増額が決められました。主な工事場所は、黒崎地区の村営住宅脇の村道の舗装修繕などです。

### 灯油の購入に 5千円を助成

民生費の「福祉灯油購入助成金」では115万円を新規補正。対象は昨年と同様に非課税世帯で、65歳以上の世帯か、障がいを持つ人がいる世帯、1人親世帯など約230世帯。1世帯に対し5千円を助成することが決められました。

### こんなことも、決まりました

- 教育施設整備基金積立金（新規） 2000万円  
小中一貫校建設のための積立金。
- 萩牛地区地域特産品生産施設駐車場工事 100万円  
観光バスなどの駐車場を新たに設けるもの。
- 除雪関連事業 822万円  
業務委託料や機械借上料などの除雪費用。
- 学校給食施設整備工事関連 1415万円  
同施設の消耗品や備品を精査した結果、消耗品費250万円を増とし、備品購入費を770万円を減とするもの。また、繰越工事となったことから工事費を1935万円増額するもの。
- 漁港施設機能復旧工事（新規） 420万円  
昨年の台風23号で被害を受けた、白井漁港と沢漁港の消波ブロックの積み直し工事分。
- 普代浜園地盛土法面工事 800万円  
同園地北側部分の盛り土の法面工事。

※千円未満は切り上げ

また「村道普代駅前1号線道路改良調査業務委託料」として250万円が予算計上されました。さらに、浄化槽設置整備

事業費補助金103万3千円と住宅リフォーム促進事業60万円をそれぞれ増額することにしました。

### 運動公園入口 案内板を設置

教育費では、北緯40度運動公園の入口が分かりにくいということなどから、「北

緯40度運動公園運動場案内看板設置工事」に100万円を計上し、同運動場の入口付近（国道45号沿い）に案内板を設置することに決めました。

また、学校給食施設の備品購入費770万7千円を減額し、一方で食器などの購入に250万円増額。同工事費は1935万4千円増額しました。

幸せを呼ぶ「カリヨンの鐘」  
(黒崎園地)



# 補正予算・条例を慎重に審議、議決

議会は、村の財政と政策、事業、条例などの諸事項を質疑、質問などを通して最終的な意思決定をしています。12月定例会では予算に関する一般会計補正予算と4特別会計補正予算を合わせた5議案を、慎重に審議し可決しました。その主な質疑は次の通りです。



サケ供養塔が設置され整備が進む普代浜園地

## 主な質疑

### 普代浜法面工事の内容を

**森田議員**

**問** 普代港線排水対策工事200万円と、普代浜園地盛土法面工事800万円が増えたが、場所と範囲は、**太田建設水産課長**

**答** 普代浜の排水工事は水門から中（小学校側）の分の右側に弁がある部分を川の方に排水するものである。普代浜園地の盛り土については当初、商工観光費で620万円程みていたが精査した結果180万円程不足になり今回800万円（災害復旧費に）計上したものである。

### 堀内住宅の法面工事は

**金子議員**

**問** 住宅管理費の工事請負費・堀内村営住宅法面保護工事の中身は、**太田建設水産課長**

**答** 事務所は旧堀内小学校（堀内公民館付近）のところで民有地との境に一部公民館側の方に擁壁があり、そこに法面保護工を25m程実施するものである。

**人事評価研修の概要を**

**中上議員**

**問** 人事評価研修業務を誰が受け、どういう立場の人がやるものか伺う。**榎屋村長**

**答** 人事評価は今まで客観的な部分でしかやっていなかったが、明確な制度化をされたことにより、基準などを定めてしっかり対応していく。

研修業務は全職員の周知徹底のために受けるという形になると思う。しっかりと制度を理解した上で最終的には村民の皆様への公僕としての務めがさらに高まるような方向にするのが大事である。

評価するシステムについては検討するようになると思うので、今後の研修で学んでいければと思う。

## 可決した条例

### 消防団員の費用弁償を増額

▽普代村消防団の定員、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

これまで消防団員が水災、災害などに出勤した場合、1回につき費用弁償は2500円でしたが、改正後は、村が津波警報などで



災害対策本部を設置した場合につき、団員がその災害に対処した場合の費用弁償を、超過した6時間ごとに

### 旧普代分署の解体中身は

**金子議員**

**問** 消防施設費の旧普代分署庁舎の解体費86万円増の中身は、**川向総務課長**

**答** 概算設計で予算を取っていたが詳細設計を委託したところ、分署の屋根裏の部分にアスベストがあるとということが分かり、その工事分として増額になった。

### ダム発電の売電益は

**大上議員**

**問** 普代ダム小水力発電の売電益の使用配分で、費用負担についての説明を。  
また、基金を機械の更新代に使うような説明であるが機械の更新に使う基金であれば意味がないのではないか。  
**太田副村長**

**答** 年間300万円の売り上げ見込み、年間経費236万9千円で引当金も入る。差し引き66万円の黒字見込みとなる。当初経費は安く済むと考え100万円

### ダム発電基金の管理は

**坂下議員**

**問** ダム発電基金について、利益分を金融機関への預金有利な方法、あるいは有価

### マイナンバー手続きは

**正路議員**

**問** マイナンバーが1月1日に施行されるが、手続きをまだしていない方は今後どうすればよいか説明を。  
**坂下住民福祉課長**

**答** 通知カードで番号が割り振られ今後、年金、後期

### 村税免除の内容説明を

**野場議員**

**問** 村税条例の一部改正は、本税を免除するものでなく、本税は減免、延滞金は免除するということなのか。  
**太田副村長**

**答** 本税を免除するものでなく徴収を最大2年間猶予し、要件に該当することにより免除になるものと軽減になるものがある。

## 次ページは「一般質問」

## 村の課題を熱く深く議論!



一般質問とは、議員が執行機関である村長などに対し、事務事業の状況や将来の方針などについて、問い正したりすることをいいます。村は「一問一答方式」で行っていますので、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。

### 質問者は2人

#### 【1番目】坂下 重雄 議員

・学校給食センターの基礎工事などについて

#### 【2番目】中上 一登 議員

・三陸沿岸道路全線開通後の観光振興策について





# 観光面への展望は

## 沿岸道を生かし切る

—— 梶屋 村長

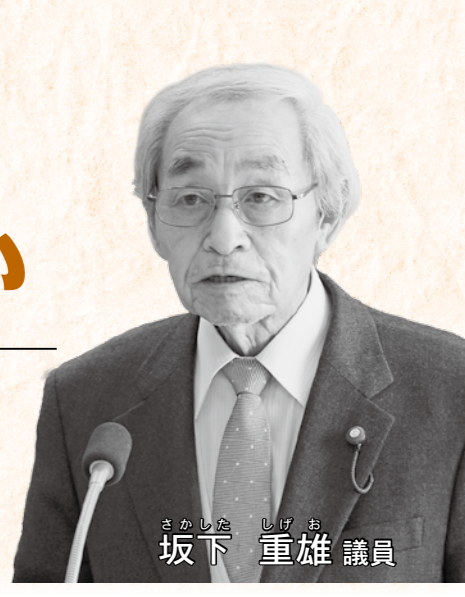
「一般 質問」

# 照り

# 給食センター一順調か

## 適切に進めている

—— 三船 教育長



なかみ かずと  
中上 一登 議員

さかした しげお  
坂下 重雄 議員

**中上議員** 約4年後には八戸・仙台間の沿岸道がほぼつながり、人の流れが大きく変わる。村に有益となるための観光面への展望を伺う。

**梶屋村長** 復興道路は概ね5年後には全線供用となる。通勤エリアが拡大するので若年層の定住につながる宅地の確保、子育て支援などで人口流出への効果も期待できる。観光振興はハード、ソフト多岐にわたり、時間もかかる。行政だけでは成果を上げることができない分野である。希望としては、駅周辺に「道の駅」か「産直施設」があり、インターチェンジ、三鉄を降りた人たちが賑わうようにしたい。

くろさき荘の別館も改修し、体験型の特産品加工施設や高齢者福祉住宅にも活用されれば、集客力にもつながるといふイメージを持っている。そのイメージが村民の皆様と共有され、官民協働が浸透し前進して

**坂下議員** 工事が始まっている給食センターについて、ボーリング地質調査は、整地前に2カ所で行った。結果は地盤から19m、設計建物の基礎の底からは深さ13mのところまで支持層に達している。

この結果を受けて、建物規模、構造とを照らし合わせて、杭基礎でなければ支えることができないという旨の判断をいただき、支持層への埋め込み分を含め、杭の長さを14mとした。

**三船教育長** 給食センター工事に關しての（ボーリング）地質調査は、整地前に2カ所で行った。結果は地盤から19m、設計建物の基礎の底からは深さ13mのところまで支持層に達している。

また、現在進められている基礎工法はどのような工法か伺う。

今回採用した杭の工法はオーガー併用先端根固め工法といい、支持基盤までオーガーで穴を掘り、その穴に既成杭を挿入して先端にセメントを注入して支持



鉄骨工事が行われている給食センター（1月22日）



沿岸道の普代インターを生かした観光振興が望まれます

**中上議員** 具体的なにはどのようなイメージでやっていくのか。また、久慈地域4市町村の首長で構成する研究会で大規模な「道の駅」建設が検討されているとの報道があった。その詳細を伺う。

**村長** 普代村だけで直接お客さんを呼び込むのは、大変難儀である。三陸沿岸、岩手県、東北といった形で、総力を上げて広いエリアで呼び込み、村にも立ち寄ってほしい。

**中上議員** （最初のお答えで）「住宅や宅地の確保を進める」と言っているが、具体策を考えているか伺う。

**村長** 若い方々の住宅のためにも用地の確保に大変苦慮している。宅地として具体的には、普代の街並みの国道沿いは危険崖地が続いているので、そこを削り普代側に入れば宅地となり危険がなくなる。

あとは、普代北IC付近に村の宅地がある。そこに優遇策などで若者の移住を募り、さらに団地にするなど計画が上がっている。また、旧堀内小学校の校庭も考えている。

**中上議員** 村の観光対策で、「青の国ふだいファン会員登録制度」としてホームページで募集している。訴求力として魅力を感じない。どれくらい応募があるか伺う。

**村長** 現在3名の登録をいただいている。普代に旅行をしてみたいと思うような波及効果を期待し、改革を進めていく。

基礎に固定させる工法を取っている。

杭工法の種類は複数あるが、工事費、周囲に対する騒音、振動の影響等を考慮

した結果、今回の工法での作業になった。

なお、杭の打ち込み工事は11月で終了している。

**坂下議員** 積雪量などによる工事の増額もあるということだが、普代地区と鳥居地区それぞれの積雪想定量はどのくらいなのか。また、積雪荷重量による強度対策にはどのような違いがあるのか説明を。

**教育長** 敷地変更前の普代と変更後の鳥居とは標高の違いから構造設計に採用する積雪量にかなりの差がある。建築基準法で定めた計算式では普代の積雪量が95mm、鳥居では130mmとなっている。

100mm以上の敷地は多雪地域となり、その対策には柱・梁、屋根など荷重に耐えられるだけの強度を持たせなくてはならない。

設置取付費と機器購入費の割合については設置取り付費と共通仮設費、現場管理費などの諸経費を合わせて全体の金額の10・2%となっている。

今回の給食センターは鉄骨造りであるので、鉄骨の各部材のサイズを大きくする必要があり、鉄骨総重量で10・6ト増加とし建物の強度対策としている。

**坂下議員** 給食センターの厨房機器の備品購入費7600万円について、これには設置取付費が含まれると思うが、その設置取付費と機器購入費の割合について伺う。

**教育長** 厨房機器の入札条件としては、本体備品に搬入据え付け費、荷具送料、試運転調整費、共通仮設費、現場管理費などを含む価格を設定し、9月25日の入札執行を経て7620万8040円で契約締結し、9月30日付で議会の議決を得た。



# 請願・陳情

## 陳情1件を継続審査

12月定例会に提出された陳情は1件でした。総務常任委員会（坂下重雄委員長）で審査した結果、継続審査とすることに決定しました。内容は次の通りです。

### ウイルス性肝炎患者への医療費助成

の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を期している。

▼陳情人：B型肝炎被害者対策東北弁護団団長 鹿又喜治（宮城県仙台市）  
▼陳情の内容：ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療費がB型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした治療に限られているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数に上る。特に、肝硬変・肝がん患者は高額

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題であることから、①ウイルス肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。②身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすることの2点を国等に要望するもの。

## 東部議長会で研修会 議会改革の現状学ぶ

岩手県立大学 副学長 齋藤俊



県内の議会改革の状況を解説する齋藤副学長

平成27年度東部町村議会議長会の議員研修会が12月22日岩泉町役場で開かれ、岩手県立大学の齋藤俊明副学長が「人口減少時代における地方議会の在り方と議会改革」と題し、講演しました。

岩泉町、普代村、田野畑村、大槌町、山田町の議会議員ら53人が参加。講師の齋藤副学長は資料を使い、議会改革の取り組み状況や住民との対話の場の設定など、県内の議会改革の現状を解説しました。

また特色ある取り組みとしては、ツイッターやフェイスブックなどの活用や住民参加型の議会として「議会モニター」や「議会サポーター」制度の設置などが行われている事例も紹介しました。

## 議会を傍聴しませんか？

定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）に開かれます。個人、団体でも傍聴できますので、議会事務局（電話 35 - 2118）に気軽にお電話ください。また、役場1階の村民ホールテレビでも中継を見ることがありますので、お気軽にお越しください。12月定例会の傍聴者は4人でした。



## ◆ 議会の主な動き ◆

議員が出席した会議や研修会、行事などを報告します。（11月1日～1月20日、抜粋）

11月 ▶ 1日・矢巾町秋まつり（矢巾町）▶ 5～6日・岩手県沿岸知的障害児施設組合議員研修会（雫石町・秋田県横手市）▶ 8日・村学校給食センター建設工事安全祈願祭（鳥居）▶ 9日・議会広報常任委員会（役場）▶ 10日・第3回政務調査会、東部町村議会役員会（東京都）▶ 11日・第59回町村議会議長全国大会（同）▶ 12～13日・東部町村議会議長会先進地視察（高知県・徳島県）▶ 13日・国道45号白井地区道路工事安全祈願祭（白井）▶ 16日・地球村ふだいの明日を担う中学生議会（役場）▶ 25～26日・町村議会広報担当者研修会（花巻市）▶ 27日・久慈地区市町村議会連絡協議会議員研修会（洋野町）

12月 ▶ 2日・第2回産業経済常任委員会村内視察（村内）▶ 5日・はまゆり子ども園生活発表会（はまゆり子ども園）▶ 14日・第53回知事を囲む懇談会（盛岡市）▶ 15日・議会運営委員会（役場）▶ 17日・普代村議会第9回定例会（役場）▶ 22日・東部町村議会議長会議員研修会及び交流会（岩泉町）

1月 ▶ 4日・普代村漁業協同組合魚市場初売り式（太田名部漁港、同漁協新年会（同漁協）▶ 5日・議会広報常任委員会（役場）、村成人式（管理センター）、村新年交賀会（くるさき荘=下写真）



※そのほか、岩手県町村議会議長会主催の研修会、岩手県沿岸知的障害児施設組合例月現金出納検査などに、各議員が出席しています。



# 一人でも……

普代中学校（佐藤嘉宏校長、生徒65人）の3年生28人が10月8日、議会場で中学生議会を開きました。普代小6年生20人や村議会議員、教育委員らが傍聴する中、選ばれた5人の「中学生議員」たちは「一般質問」に登壇。若者向け施設の誘致や駅前広場を活用したイベントの開催、村民運動会の復活などを提言し、証屋伸夫村長、三船雄三教育長、各課長と質疑応答を繰り返しました。

28人の生徒たちは、この日のために村議会を傍聴し、村の課題を調べ、生徒同士で話し合いを重ねてきました。

村を想う生徒を1人でも多く育て、村を離れてもふるさとを想っていてほしい……。願わくば将来、村に戻ってきてほしい……。そんな願いから始まった中学生議会の小さな村の未来を想い、生徒たちはどんなことを描いたのでしょうか。



中学生議員  
議長 太田 慎君  
議員 太田綾音さん  
山本寛人君  
日向結衣さん  
道下瑞葵さん  
上向穰司君

## 1 体験学習を進めるべき

太田綾音 議員



### 提言

太田議員

**問** 普代村では農業、漁業の後継者が少なく高齢化が進んでいます。その取り組みとして漁業では後継者育成プロジェクトを企画しているのと知りました。プロジェクトについて伺います。

**証屋村長**

**答**（資料により漁業者の年齢構成などを説明。60歳以上の漁業者が37・1%と説明後）漁協組合員は309人で、平均年齢は60歳となっています。高齢化対策が急がれ漁協など関係機関と協力しプロジェクトに取り組んでいます。

内容は、若い漁業者の独立立ちに向け月額9万4千円を最長2年助成し、5名が活用しています。さらには、収入の向上や就労環境の改善を図る対策にも取り組んでいます。これらのプロジェクトは、村の漁業はもとより関連する全ての産業が活力と元気を維持していくためには不可欠な取り組みと認識しています。

**太田議員**

**問** 現在、小学校で行われている米作りや、新巻鮭作り、ワカメの芯抜きなど体験学習を村内だけでなく、ほかの地域の小中高生へと広げていくことが大切だと思います。

奥州市では修学旅行生を対象に農業体験学習を企画しています。村でも農業・漁業体験を企画し後継者を育てることが村の活性化につながると思いますが、ど

## 2 若者向け店舗 誘致を

山本寛人 議員



### 提言

山本議員

**問** 普代村の人口減少の原因として若者が流出していることが挙げられます。働く場所の不足はもちろんです。ですが、お店が少なく、買えるものが限られていて不便だということが流出の理由になっていると思います。さらに、若者が働きたいと思える施設や店がないのも理由として考えられま

体験学習をほかの地域へ広げていくことができるのか、受け入れの態勢づくり・体験メニューなどを考え、実施に向けて検討しているのが現状です。

体験学習をほかの地域へ広げていくことができるのか、受け入れの態勢づくり・体験メニューなどを考え、実施に向けて検討しているのが現状です。

その対策をどのようにお考えですか。

**証屋村長**

**答** 村では人口減少に歯止めをかけるため、地方版の総合戦略づくりを進め、27年度10月末から今後5年間の取り組み事業を決定しています。

内容は若者がやりがいを感じる魅力ある仕事、雇用の場を創出する対策として既存産業の6次産業化の推進などを行い、5年間で4カ所の新たな職場と50人の雇用を創出するよう取り組みをしております。

**山本議員**

**問** 村に住んでいる人の流出を防ぐには、若者向けの

店舗や施設が必要だと考えます。例えば、コンビニなどの夜間でも営業しており、軽食や本など必要な物が揃っているお店を誘致することを提案します。

最近の若者は、コンビニがあることを住むときの最低条件にする場合も多く、中学生から30歳までの20人近くに調査をしたら全員が「コンビニがほしい」と回答しました。

若者の流出を防ぎ、さらに若者が増えることで商店の活性化にもつながると考えますが見解を伺います。

**道下地域創生室長**

**答** コンビニ誘致は、現在数社から申し出があり顧客数、売上、経営見通し、また他店への影響などの調査を行っています。

今後、調査結果や住民ニーズ、商工関係者の方々からも十分、意見をいただきながら経営意欲のある方への説明会の開催など、コンビニ誘致に向けての検討を進めていきたいと考えています。









# ふるさと 私たちが一人一人の手に。

今回2回目となった中学生議会のきっかけは、普代中の佐藤嘉宏校長が、昨年生徒を対象に行った面談でした。

「普代村にずっといたいのか」という問いに生徒の半数以上が「村外に出る」という回答だったことから、佐藤校長は「将来村を発展させたいと思うような生徒を一人でも多くしなければ」と結果を重く受け止め、村を考える機会として「議会」を思いつき、議会、村、教育委員会の協力で、昨年1回目の中学生議会が開かれました。

今回の中学生議会でも、28人の生徒が村のことを真剣に考え、彼らなりの意見を大人に向けて発信したことは、とても意義のあることでした。そして、何より「村を何とかしたい」という一生懸命な想いが伝わってきました。

命な想いから未来は築かれていく、そう考えさせられた中学生議会でした。

中学を卒業するとほとんどの生徒が村外に進学し、高校卒業後は、村外や県外に就職・進学します。そんな生徒たちをいつの日か「おかえり」と迎えるような村づくりを、私たち一人一人がしなければなりません。



**最** 初はあまり議会に興味がなかったけれど、村についてさまざま調べ、村の人たちに提案したいと思い少し議会に興味を持つことができました。村では人口が減り続けていて、深刻な問題になっているけれど、将来自分が何か役に立てたらいいなあと、学習全体を通して感じました。(佐々木美紅さん)



**中** 学生議会で僕は議長をしましたが、最後までミスなく進行できてよかったです。発言しているみんなも、自信を持ってしゃべっている感じでした。将来、村に残るかどうかは、今決められることではないですが、少し普代村にいてもいいのかなあと、思える時間でした。(太田 慎君)



**僕** たちのグループはコンビニの誘致を提案しました。議会の中で、コンビニが立つようなことだったので、よかったと思いました。これからは若い人が少なくなって人口が減っていきと言っていました。僕は最終的には普代に戻ってきて来て、家の漁師を継ぎたいと思っています。(太田吉孟君)



**人** 口減少など普代村の課題と向き合い、どうすれば普代村が良くなるか、自分なりに考えることができました。少子高齢化のことなど、将来もしっかり考え、普代村が良くなることなど積極的に取り組んでいきたいと思いました。村民運動会が復活したら参加したいです。(中花優花さん)



## 気づき、知り、感じる。そして想いは未来へつながる。

VOICE

村の課題に気づき、現実を知り、解決方法を真剣に考えてきた生徒たち。自分たちなりの提案を議会という場で発表し、何かを感じ、またふるさとのことを知りました。子どもたちの村を愛するその想いは、一人一人心の中で、きっと、ずっと未来へつながります。

**自** 分たちが提案したことが実現すればいいなあと思いました。将来はトンネルや橋を造る仕事をしたいので、普代から離れると思います。でも、お盆やお正月には帰ってきて、普代がどう変わっていくか見たいです。できればコンビニがあって、浜に活気があったらいいなと思いました。(新田将輝君)



**普** 段何気なく普代村に住んでいましたが、自分のふるさとである普代村について、いろいろと考えることが将来にもつながると中学生議会を通して思いました。今後、普代村民として自分にできることは何か考えていくことが大切だと、考えさせられる良い機会となりました。(深渡千佳さん)



**中** 学生議員の皆さんは、それぞれの視点から誠的に射た普代村の課題を取り上げていただきました。村政に対して献身なそして率直な考え方に関心しました。

中学生の皆さんは心身ともに発達、成長するとき、このように行政に興味を持つということは非常に大



事なことです。ましてや18歳から選挙権を有することになります。こういう経験をしたことは将来必ず何かの役に立つはずですよ。

議会としても「普代村に産まれてよかった」そういう村をつくっていかねければと、身に染みて感じました。皆様のご意見を真摯に受け止めながら、村議会としても頑張っていきたいと思えます。

(普代村議会 中村 裕議長)





## 普代浜 観光スポットに

正路 裕也さん  
(盛岡市在住・大学生)

「ものづくり」はすぐにはなくならないだろうと思ひ、地元に近い大学の工学部を専攻しました。

普代浜はきれいだし、白い砂はめずらしいので、園地をがっちりしたものを作れば、三陸道から簡単に行けるので、観光スポットにいいと思います。騒がしいところに慣れた人だったら2、3日はゆっくりできるのが普代のよい点だと思います。



## 普代は普代のままで

熊谷枝美香さん  
(東京都在住・接客業)

田舎だと限られた人しか会話できないけど、今の仕事は職場の人やお客様と接し、人から刺激を受ける部分があります。

普代の魅力は人が優しいこと。成人式でもみんな「おめでとう」って言ってくれてうれしかったです。友達でも地元に戻りたいと思っている人も多いです。人口減少が進んでいるようですが、私は合併してほしくない。普代は普代でいてほしいです。



# V O I C E 未来予想図 Fudai

## ～ 20歳の声特集～

### そのままの自然がいい

太田佳緒里さん  
(宮城県在住・短大生)

短大では保育の専門を勉強しています。4月には普代に戻って働く予定です。はじめは仙台に何年かいるかなと思っていましたが、ちょうど地元での仕事があったので挑戦しました。

普代はやっぱり自然が魅力です。都会にも自然はありますが、作られた感じがします。あと、普代は鶺鴒神楽もありますね。成人式でのふだい荒磯太鼓もかっこよかったです。

### 人のあったかさ感じる

金子 一輝さん  
(千葉県在住・福祉施設勤務)

高校卒業後、千葉県で介護福祉士をしています。福利厚生の方がよかったので就職しました。仕事はけっこうきついですが、頑張っています。おじいちゃんやおばあちゃんと電話で話したりすると、普代のことを思い出します。今回帰省してやっぱり食べ物がおいしいし、生ものの鮮度が違います。何より都会にない人のあったかさを感じます。若い人が住みたくするような村づくりを期待します。



委員	委員長	副委員長
森田 幸一	正路 正	中上 敏
嵯峨 典行	上 正	中上 敏

議会広報常任委員会

本年も「ふだい議会だより」とよろしくお願ひいたします。また、本紙に關するご意見、ご感想をお待ちしています。

- |     |       |
|-----|-------|
| 議長  | 中村 裕  |
| 副議長 | 熊谷 有耕 |
| 議員  | 嵯峨 典行 |
| 議員  | 金子 泰男 |
| 議員  | 正路 正敏 |
| 議員  | 坂下 重雄 |
| 議員  | 大上 浩史 |
| 議員  | 野場 義時 |
| 議員  | 森田 幸一 |

謹んで新春のお喜びを申し上げます

